

第4節 タイプ別の教育経験

本節では、無業者が学校教育に関してどのような経験をしてきたかについて検討する。具体的な項目としては、学歴構成、中学時の不登校経験、中学3年時のクラスや学年での成績を取り上げる。

1 各タイプの学歴構成

タイプ別・年齢別の学歴構成を表3-1-3に示した。「自立調査」の非在学者サンプル全体と無業者全体を比較すると、高卒以下の比率は前者では46.4%であるのに対し後者は61.1%と、無業者では高卒以下の学歴の比率が高い。同比率は無業者の中でも性別による違いが大きく、男性では72.0%に達しているが女性では49.3%である。また無業者男性の中でも高卒以下の比率が特に高いのは「非希望型」の男性であり、94.1%と大半が高卒以下である。

高卒以下の学歴をさらに細かく見ると、非在学者全体と無業者との間で比較的差が大きいのは「普通高校中退」の比率であり、非在学者全体では2.5%であるのに対し、無業者では9.6%である。無業者の中でも特に男性では13.4%が「普通高校中退」であり、中でも「非希望型」男性では同比率が17.6%に達している。

「非希望型」男性のもう一つの特徴として、「普通高校卒」の比率が41.2%と極めて高いことがあげられる。「普通高校中退」と合わせると、「非希望型」男性の58.8%までが普通高校を最終学歴としている。

他方で「求職型」男性では、中卒者が10.8%と比較的多いことが注目される（非在学者全体では3.3%、無業者全体では5.7%、無業者男性全体では8.5%）。

大学を最終学歴とする者（大学院1名を含む）の比率は無業者全体では13.4%であり、非在学者全体の21.5%と比べて低い。同比率は「求職型」では女性よりも男性の方が高いが「非求職型」及び「非希望型」では女性の方が高く、いずれも20.0%となっている。

また専門学校を最終学歴とする者の比率は無業者の中で女性の方が高く、男性の12.2%に対して女性では18.6%である。特に「求職型」女性では23.3%が「専門学校卒」である。

無業者全体の中で何らかの学校を中退している者の比率は15.9%であり、非在学者全体の6.3%と比べて高い。この比率は無業者の中でも性別によって大きく異なり、女性では8.0%であるが男性では23.2%とほぼ4人に1人までが何らかの学校を中退している。なお、父と死別ないし離別している無業者26名中10名（38.5%）は何らかの学校を中退している。

表3-1-3 無業者タイプ別性別 最終学歴

		中卒	普通高 校卒	普通高 校中退	普通科 以外高 校卒	普通科 以外高 校中退	短大・ 高専卒	専門学 校卒	専門学 校中退	大学・ 院卒	大学・ 院中退	その他 不明卒	その他 不明中 退	合計	高校卒 以下計	中退計
求職型	男性 度数 %	4 10.8	7 18.9	4 10.8	8 21.6	2 5.4	0 0.0	5 13.5	1 2.7	5 13.5	0 0.0	0 0.0	1 2.7	37 100.0	25 67.6	8 21.6
	女性 度数 %	0 0.0	8 26.7	0 0.0	8 26.7	0 0.0	5 16.7	7 23.3	0 0.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	30 100.0	16 53.4	0 0.0
	男女計 度数 %	4 6.0	15 22.4	4 6.0	16 23.9	2 3.0	5 7.5	12 17.9	1 1.5	7 10.4	0 0.0	0 0.0	1 1.5	67 100.0	41 61.3	8 12.1
	男性 度数 %	2 7.1	6 21.4	4 14.3	5 17.9	1 3.6	0 0.0	3 10.7	1 3.6	4 14.3	1 3.6	1 3.6	0 0.0	28 100.0	18 64.3	7 25.0
非求職型	女性 度数 %	1 3.3	3 10.0	4 13.3	4 13.3	1 3.3	5 16.7	5 16.7	1 3.3	6 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	30 100.0	13 43.3	6 20.0
	男女計 度数 %	3 5.2	9 15.5	8 13.8	9 15.5	2 3.4	5 8.6	8 13.8	2 3.4	10 17.2	1 1.7	1 1.7	0 0.0	58 100.0	31 53.4	13 22.4
	男性 度数 %	1 5.9	7 41.2	3 17.6	4 23.5	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 100.0	16 94.1	4 23.5
	女性 度数 %	1 6.7	4 26.7	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	3 20.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	15 100.0	8 53.4	0 0.0
非希望型	男女計 度数 %	2 6.3	11 34.4	3 9.4	7 21.9	1 3.1	0 0.0	1 3.1	0 0.0	4 12.5	0 0.0	3 9.4	0 0.0	32 100.0	24 75.1	4 12.5
	男性 度数 %	7 8.5	20 24.4	11 13.4	17 20.7	4 4.9	0 0.0	8 9.8	2 2.4	10 12.2	1 1.2	1 1.2	1 1.2	82 100.0	59 72.0	19 23.2
	女性 度数 %	2 2.7	15 20.0	4 5.3	15 20.0	1 1.3	10 13.3	13 17.3	1 1.3	11 14.7	0 0.0	3 4.0	0 0.0	75 100.0	37 49.3	6 8.0
	男女計 度数 %	9 5.7	35 22.3	15 9.6	32 20.4	5 3.2	10 6.4	21 13.4	3 1.9	21 13.4	1 0.6	4 2.5	1 0.6	157 100.0	96 61.1	25 15.9
非在学者全体		%	3.3	22.0	2.5	17.5	1.1	11.7	16.7	1.2	21.5	1.0	0.6		46.4	6.3

2 各タイプの中学時不登校経験

表3-1-4は、タイプ別・性別の中学時不登校経験（病気以外の理由で欠席した日数）を示している。無業者の28.7%は1か月未満の、8.9%は1か月以上の不登校経験があり、いずれも「自立調査」サンプル全体の比率（それぞれ21.7%、3.3%）と比べて多い。あわせて無業者の37.6%は中学時に何らかの不登校経験を持っている。同比率は無業者女性では33.3%であるが無業者男性では41.5%に達し、特に1か月以上の不登校経験者が無業者男性では12.2%に及ぶ（無業者女性は5.3%）。無業者男性の中でも「非希望型」男性では17.6%、「非求職型」男性では14.3%が1か月以上の不登校経験を持つ。また「求職型」男性、「非希望型」女性は1か月未満の不登校が40%を超える。

なお、父と死別ないし離別している無業者26名中、6名（23.1%）は1か月未満、7名（26.9%）は1か月以上、あわせて半数が不登校を経験している。また無業者の中で1か月以上の不登校経験を持つ14名のうち5名（35.7%）は学校を中退している。